

## はじめに

茨城大学人文社会科学部・人文社会科学研究科の『茨城大学人文社会科学部・人文社会科学研究科年報 2021（対象年度：2020）』が発行の運びとなりました。令和 2（2020）年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、学部・大学院の運営も大きな影響を受けました。これまでにない教育環境が生じるなか、教職員が一丸となり大学教育あるいは学生サービスの向上に努めてきました。この厳しい時期の経験を、当たり前だった日常を見つめ直し、グローバル化など人間と社会のあり方を考え、よりよい社会の創造に向けて踏み出すきっかけにしたいと思います。

この年報が、大学内外の皆様にも、私たちのさまざまな取組みの状況を知っていただく一助となれば幸いです。

人文社会科学部は、平成 29（2017）年度に発足し 4 年目を迎えています。現代社会・法律経済・人間文化の 3 学科で構成され、人文科学・社会科学を体系的に学びなら、専門分野を超えた幅広い視野を体得することを特色としています。7 つのメジャーとサブメジャーの学びを通じて、深い専門性と幅広い視野を身につけます。また、内外の「地域」で、さまざまな人とかかわり学ぶ、アクティブ・ラーニングの授業では、実践力を養います。一昨年度から専門科目も本格的に開講され、昨年度で完成年度となり、最初の卒業生を社会に送り出しました。

人文社会科学研究科は、文化科学専攻と社会科学専攻から構成され、後者では現職地方公務員・地方議員を対象とする、地域政策研究（社会人）コースを開設しています。また令和 3（2021）年度の改組に向けて、準備を進めてきました。「公認心理師」を養成する新しいコース教育を新設し、テクノロジーと人間社会にかかわる科目を必修化し、リカレント教育全般を拡充するなど、社会ニーズに沿った教育を提供します。

これからも改革を進める一方で、取組みや成果を自ら確認する作業が不可欠になります。本学部では『年報』を作成し、学部ホームページにも掲載しています。『年報』が対外的な情報公開ツールとしてはもちろん、学部・研究科内でも大いに活用されることを期待しています。

2021 年 9 月 1 日

茨城大学人文社会科学部長・人文社会科学研究科長：内田聡